

報告書抄録

ふりがな	ひゃくさいじいせき							
書名	百済寺遺跡							
シリーズ名	南川通常砂防工事に伴う発掘調査報告書							
編著者名	重田 勉							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	平成19年（2007年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ひゃくさいじいせき 百済寺遺跡	ひがしおうみし 東近江市 ひゃくさいじちよう 百済寺町	522	019	35度 15分 24秒	136度 13分 15秒	051024 / 051222	発掘調査 690m ²	砂防工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
百済寺遺跡	集落	弥生時代後期 ～古墳時代		竪穴住居・溝状遺構・土坑		土師器・弥生土器		
	墓域	室町時代		中世墓		陶器		
要約	南川の上流、標高約360mの谷奥部において、弥生時代後期～古墳時代頃の集落跡を確認した。検出された遺構は竪穴住居6棟や溝状遺構などである。眺望を重視し尾根を利用する「高地性集落」とは異なり、眺望が効かない谷斜面に立地することから、従来の「高地性集落」の概念のみでは理解できない遺跡である。							